

科目名	パートナーシップ心理学		Subject	Partnership Psychology				
サブタイトル	自己や他者とのかかわりあう心理学							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	2 単位	30 時間	○		○	◎		
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	五十嵐 靖博			メールアドレス	yigarashi@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	×							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
私たちはさまざまな「集団」の中で日々、誰かとかがわり合いながら生活を送っています。集団は私たちに達成感や安心感を与えてくれる一方で、ストレスを生じて心身の健康に影響を与え、また人間関係のあり方を方向づけています。本科目は集団の中で生じるさまざまな現象を心理学の立場から検討し、自分や他者のウェルネスやウェルビーイングを実現し、豊かな生活を送るうえで必要な対人関係にかかわる心理学を講じます。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP4	対人関係にかかわる行動や考え方の多様性を理解できる。							
DP3	日常生活で出会うさまざまな事象を対人関係の心理学の知見を活用して解決できる。							
DP1	対人関係にかかわる心理学の知識を習得できる。							
教科書・教材								
教科書	谷口 淳一、 西村 太志、 相馬 敏彦、 金政 祐司著「エピソードでわかる社会心理学：恋愛・友人・家族関係から学ぶ」 北樹出版 2020							
参考文献	『ヒルガードの心理学（第16版）』 ブレーン出版 2015							
各自準備教材	ノートPCやタブレット端末などの IT 機器							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	10%	20%	50%	-	-	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
授業時に解説する。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし。								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	オリエンテーション	授業の進め方を理解し、この授業の全体像を把握し、準備することができる	パートナーシップとはどのようなものなのかを多面的に調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第2回	自己開示と他者理解について学ぶ	自己開示を通して、自己理解を深め、他者に伝えることができる	今回の復習をし、次回に向けて意思決定について調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第3回	自分と他者の決定の違いについて学ぶ	自分ひとりの時と、集団の中にいる時との決定の違いを理解し適切な選択ができる	今回の復習をし、次回に向けてストレスマネジメントについて調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第4回	ストレスマネジメントについて学ぶ	ストレスが心身に与える影響を理解し、適切な対処法を実践できる	今回の復習をし、次回に向けて自己理論について調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第5回	自己に関する諸理論を学ぶ	自己とは何だろうか。自己に関する諸理論を理解し、説明できる	今回の復習をし、次回に向けてパーソナリティについてまとめておく	240分
第6回	パーソナリティについて学ぶ	パーソナリティの諸側面を理解し、説明できる	今回の復習をし、次回に向けてコミュニケーションスキルについて調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第7回	コミュニケーションの基本スキルについて学ぶ	「聴く」「伝える」「質問する」について、重要なポイントを説明できる	今回の復習をし、次回に向けて集団について調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第8回	アサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ	アサーティブ・コミュニケーションの目的や理論を理解した上で、実践できる	今回の復習をし、次回に向けてアサーティブコミュニケーションの活用について考え、その内容を整理してまとめる	240分
第9回	集団の概念と集団過程について学ぶ	集団の概念を理解し、どのような過程を経て構築されるかについて説明できる	今回の復習をし、次回に向けて日常生活の経験から集団に関わる事例を調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第10回	同調や服従などの対人的現象について学ぶ	同調や服従などの概念を理解し、どのようなメカニズムが作用するのか、説明できる	今回の復習をし、次回に向けて日常生活の経験から同調や服従に関わる事例を調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第11回	自尊感情や自己肯定感と対人関係について学ぶ	自尊感情や自己肯定感の理論を理解し、どのようなメカニズムが作用するのか、説明できる	今回の復習をし、次回に向けて日常生活の経験から同調や服従に関わる事例を調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第12回	自己実現と対人関係について学ぶ	自己実現に関わる理論を理解し、自他に適用して説明できる	今回の復習をし、次回に向けて日常生活の経験から自己実現に関わる事例を調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第13回	自己同一性と対人関係について学ぶ	自己同一性の理論を理解し、自他に適用して説明できる	今回の復習をし、次回に向けて日常生活の経験から自己同一性に関わる事例を調べ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第14回	生涯発達と対人関係について学ぶ	生涯発達の各段階を理解し、自他に適用して説明できる	今回の復習をし、次回に向けて自分や身近な他者について生涯発達に関わる具体例をあげ、その内容を整理してレポートにまとめる	240分
第15回	まとめ	これまでに学んだ知識やスキルを日常の中でどのように活用できるかを説明できる	今回の復習をし、これまで学んだ各項目の内容について改めて整理してレポートにまとめる	240分